

生産面積の拡大と施設整備により所得を向上「佐敷地区」

中山間地域所得向上支援対策

(なんじょうし)
【沖縄県南城市】

目標：販売額の増加 整備内容：暗渠排水（1式）、低コスト耐候性ハウス（8か所）、出荷施設（1式）、選別・選果用施設（1式）

【工夫のポイント】

- 農地中間管理機構を活用して、遊休農地に低コスト耐候性ハウスを建設。収益性の高い作物（イチゴ・ハーブ）の導入を促進。
- 販売体制強化や高付加価値化を図るため、集出荷施設や貯蔵性を高める設備を整備し、農作物のブランド化を推進

【取組地域の概要】

○位置

(なんじょうし)

沖縄県南城市（沖縄振興）



佐敷地区

○主要作物

・オクラ、マンゴー、インゲン等

○主な支援施策

- ・新規就農一環支援事業（県単）（H25）
- ・多面的機能支払交付金（H26～）

基盤整備

事業活用

生産基盤の整備

- 暗渠排水の整備により、農地の排水性が向上し、湛水被害を防止



【湛水被害の状況】

事業活用

生産現場

収益性の高い作物の導入促進

- 農地中間管理機構を利用し、遊休農地を集約して低コスト耐候性ハウスを整備
- 低コスト耐候性ハウスの導入により、気象条件や病害虫の被害減少による高収益作物の栽培環境を安定化（通年栽培）
- 育苗ハウスの整備により、沖縄に適したイチゴを生産し、ブランド化を推進



【低コスト耐候性ハウス】

事業活用

加工・流通

集出荷貯蔵施設の整備

- 農産物等処理加工施設の整備により県外出荷の販路を活用し、生産量の増加に対応した取引拡大と、単価向上を図る
- 集出荷貯蔵施設の整備により海外を含めた販路拡大と単価向上を図る



【処理加工施設と貯蔵施設（予冷库）】

担い手

多様な担い手の育成・確保および技術の継承

- 地域農業者との交流や各種研修等による新規就農者や認定農業者、法人化の推進および栽培技術の継承を推進



低コスト耐候性ハウスの導入により通年栽培が可能となり販売額を増加

- 低コスト耐候性ハウスの整備により、生産コストが低減するとともに品質が安定



【「美ら（ちゅら）イチゴ」としてブランド化】



【高収益作物のハーブの導入】

- 集出荷貯蔵施設等の整備による、品質の向上等により、販路の開拓（海外輸出）や生産物のブランド化が促進され、販売額が向上

販売額
(百万円)

